

令和5年度(年間) SNSを利用した教育相談の結果について

岐阜県教育委員会
学校安全課

県教育委員会では、生徒からのいじめ等の相談に加え、様々な悩みを抱える生徒の心のケアを図るために、SNSを活用した相談を行う「中高生SNS相談@岐阜2023」を開設しました。その相談結果をお知らせします。

- 1 開設期間 I期：令和5年5月5日(金)～令和5年5月14日(日)まで10日間
II期：令和5年8月21日(月)～令和5年9月3日(日)まで14日間
III期：令和6年1月5日(金)～令和6年1月14日(日)まで10日間
IV期：令和6年3月22日(金)～令和6年3月31日(日)まで10日間
- 2 受付時間 上記開設期間の午後5時～午後10時まで
- 3 対象者 県内の中学生・高校生段階の生徒本人(約12万人)
- 4 活用ツール LINE
- 5 事業の結果

(1) 相談件数等

	R5年度 I期	R5年度 II期	R5年度 III期	R5年度 IV期
相談期間	R5.5.5～ R5.5.14	R5.8.21～ R5.9.3	R6.1.5～ R6.1.14	R6.3.22～ R6.3.31
相談日数	10日	14日	10日	10日
周知対象者	約12万人	約12万人	約12万人	約12万人
うち登録者数累計	82人	283人	349人	393人
総アクセス件数 (実人数)	16件 (10人)	114件 (36人)	61件 (28人)	38件 (13人)
対応件数 (実人数)	16件 (10人)	81件 (36人)	46件 (28人)	38件 (13人)

<参考：令和4年度>

	R4年度 I期	R4年度 II期	R4年度 III期	R4年度 IV期
相談期間	R4.5.5～ R4.5.14	R4.8.21～ R4.9.3	R5.1.5～ R5.1.14	R5.3.22～ R5.3.31
相談日数	10日	14日	10日	10日
周知対象者	約12万人	約12万人	約12万人	約12万人
うち登録者数累計	68人	299人	362人	402人
総アクセス件数	18件	132件	58件	42件
時間内の相談対象件数	16件	89件	36件	31件
時間内受信分対応件数	16件	85件	36件	31件

(2) 校種別相談対応数

	R 5 年度 I 期	R 5 年度 II 期	R 5 年度 III 期	R 5 年度 IV 期
中学生	4	37	14	22
高校生	12	31	25	12
特別支援学校（中学部）	0	0	0	0
特別支援学校（高等部）	0	13	5	4
不明等	0	0	0	0
合計	16	81	46	38

(3) 相談内容（相談員による対応件数内訳）

主訴	R 5 年 I 期分	R 5 年 II 期分	R 5 年 III 期分	R 5 年 IV 期分
	件数	件数	件数	件数
不登校に関すること	0	7	3	2
いじめに関すること	0	1	2	6
暴力行為	0	0	0	0
児童虐待に関すること	0	2	0	0
友人関係に関すること	3	7	3	3
貧困の問題	0	0	0	0
非行・不良行為	0	0	0	0
家庭環境に関すること	2	2	3	3
教職員との関係	1	8	2	2
心身の健康・保健に関すること	2	13	10	11
学業・進路に関すること	2	20	9	5
発達障がい等	1	0	0	0
恋愛に関する悩み	0	1	0	0
ヤングケアラー	0	1	0	0
性的マイノリティ	0	5	0	0
いたづら・ひやかし	0	0	0	0
その他	2	6	4	2
無応答・ブロック	3	8	10	4
合計	16	81	46	38

(4) 相談時間別相談数

対応時間	R 5 年 I 期分	R 5 年 II 期分	R 5 年 III 期分	R 5 年 IV 期分
	件数	件数	件数	件数
1 分未満	0	0	0	0
1 ～ 1 0 分未満	0	2	2	0
1 0 ～ 3 0 分未満	3	2 1	1 7	5
3 0 ～ 6 0 分未満	4	1 7	1 2	6
6 0 ～ 9 0 分未満	8	3 0	1 2	1 8
9 0 ～ 1 2 0 分未満	1	1 1	3	7
1 2 0 ～ 1 8 0 分未満	0	0	0	2
1 8 0 分以上	0	0	0	0
合計	1 6	8 1	4 6	3 8

(5) 相談時間帯別相談数

相談時間帯	R 5 年 I 期分	R 5 年 II 期分	R 5 年 III 期分	R 5 年 IV 期分
	件数	件数	件数	件数
1 7 時台	7	3 1	1 8	1 0
1 8 時台	0	1 4	1 1	5
1 9 時台	4	2 1	1 1	9
2 0 時台	4	1 0	4	9
2 1 時台	1	5	2	5
合計	1 6	8 1	4 6	3 8

6 成果と課題

- ・ I 期の相談内容としては、「友人関係に関すること」、「家庭環境に関すること」、「心身の健康・保健に関すること」、「学業・進路に関すること」の順に多かった。
- ・ II 期の相談内容としては、「学業・進路に関すること」(24.7%)、「心身の健康・保健に関すること」(16.0%)、「教職員との関係に関すること」(9.9%)の順に多かった。
- ・ III 期の相談内容としては、「心身の健康・保健に関すること」(21.7%)、「学業・進路に関すること」(19.6%)の順に多かった。
- ・ IV 期の相談内容としては、「心身の健康・保健に関すること」(28.9%)が最も多かった。
- ・ 相談期間を通して、それぞれの環境下における生徒たちの不安や悩みに寄り添うことができた。